

三種監発一 2 2
令和2年8月5日

三種町長 田川政幸様

三種町監査委員 田中金光

三種町監査委員 松渕秀和

令和元年度三種町公営企業会計決算の審査に係る意見の提出について

地方公営企業法第30条第2項の規定に基づき、審査に付された令和元年度三種町公営企業会計決算の審査を実施しましたので、次のとおり意見を提出します。

令和元年度公営企業会計決算審査意見

- 1 三種町監査基準（令和2年三種町監査委員告示第1号）に準拠して実施した。
- 2 審査の種類
決算審査
- 3 審査の対象
令和元年度三種町水道事業会計決算、証書類、当該年度の事業報告書及び政令で定めるその他の書類
- 4 審査の着眼点
予算執行の効率性及び財務分析
- 5 審査の実施内容
 - (1) 実施期日
令和2年7月31日
 - (2) 実施手続
提出された審査資料等を確認し、関係職員等からの説明を聴取した。
- 6 審査の結果
上記の記載事項のとおり審査した限りにおいて、決算その他関係書類が法令に適合し、かつ正確であることが認められた。
- 7 審査の総括
水道料金の収納率は93.9%と前年度に比して0.5ポイント改善が図られた。また、収入未済額も前年度比2,573千円の減少となったが、まだ4千万円を超える状況にある。未納者に対する適切な対応、特に初動対応を強化し、収入率の向上に努めるとともに、未済額についても、徴収の可否判断を適切に行い、最終処理を適切に進められたい。
水道は、町民の日常生活や様々な事業活動に欠かせない重要なライフラインであり、常日頃から災害時の危機管理対策に万全を期するとともに、より効率的な事業運営により、供水原価の逡減に努め、高い安全性と信頼性を維持されたい。

公営事業会計決算の概要

1 水道事業

(1) 事業の概要

当年度末の給水人口は11,871人で、前年度に比べ337人(2.8%)減少しており、有収水量は1,219,951 m³で、前年度より21,108 m³(1.7%)減少し、給水収益は204,405,875円で、前年度より3,112,162円(1.5%)減少している。

また、当年度における建設改良事業は、国道7号線歩道拡幅に伴う大曲地内配水管移設工事、山本浄水場急速ろ過機ろ材交換工事のほか、老朽化等に伴う施設設備等の取替工事を実施している。

なお、三種川改修工事に伴う宮橋橋梁添架管布設替工事は、三種川改修工事が繰越となったため、次年度へ繰り越されている。

(2) 予算執行状況

① 収益的収入及び支出

収入額 299,802 千円（収入済額 279,772 千円、収入未済額 20,030 千円）、支出額 300,338 千円、差引額 536 千円の赤字である。

水道料の収入済額は 208,836 千円であり、調定額 222,392 千円に対する収入率は 93.9%（前年度 93.4%）となっている。

支出済額 300,338 千円は、予算現額 318,629 千円に対する執行率が 94.3%（前年度 95.5%）となっている。

収益的収入 (単位：千円 [消費税込み]、%)

科 目	予算現額	調 定 額	収入済額	収入未済額	収 入 率
営業収益	234,001	228,863	208,876	19,987	91.3
給水収益	226,609	222,392	208,836	13,556	93.9
その他	7,392	6,472	41	6,431	0.6
営業外収益	66,032	66,205	66,162	43	99.9
受取利息及び配当金	3	4	4	0	100.0
一般会計補助金	13,525	13,525	13,525	0	100.0
加入金	586	880	837	43	95.1
長期前受金戻入益	51,327	51,204	51,204	0	100.0
雑収益	591	591	591	0	100.0
特別利益	3	4,734	4,734	0	100.0
固定資産売却益	1	0	0	0	-
過年度損益修正益	1	0	0	0	-
その他	1	4,734	4,734	0	100.0
合 計	300,036	299,802	279,772	20,030	93.3

収益的支出 (単位：千円 [消費税込み]、%)

科 目	予算現額	支出済額	不 用 額	執 行 率
営業費用	277,879	265,853	12,026	95.7
原水費及び浄水費	56,315	52,308	4,007	92.9
配水及び給水費	22,138	18,829	3,309	85.1
総係費	37,089	35,567	1,522	95.9
減価償却費	144,807	145,388	△ 581	100.4
資産減耗費	17,530	13,761	3,769	78.5
営業外費用	38,600	34,471	4,129	89.3
支払利息及び企業債取扱諸費	27,100	27,051	49	99.8
雑支出	20	0	20	0.0
消費税及び地方消費税	11,480	7,420	4,060	64.6
特別損失	150	15	135	10.0
過年度損益修正損	50	4	46	8.0
固定資産売却損	100	11	89	11.0
予備費	2,000	0	2,000	-
合 計	318,629	300,338	18,291	94.3

② 資本的収入及び支出

収入額 234,464 千円（収入済額 231,872 千円、収入未済額 2,592 千円）、支出額 305,725 千円、差引額 71,261 千円の不足となっているが、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、過年度分損益勘定留保資金及び当年度分損益勘定留保資金により補填されている。

一般会計からの出資金は、95,336 千円（前年度 94,759 千円）である。

支出済額 305,725 千円は、予算現額から翌年度繰越額を差し引いた額 318,891 千円に対する執行率が 95.9%（前年度 96.7%）となっている。

資本的収入

（単位：千円 [消費税込み]、%）

科 目	予算現額	調 定 額	収入済額	収入未済額	収 入 率
企業債	99,000	77,300	77,300	0	100.0
負担金	2,880	61,743	59,151	2,592	95.8
出資金	95,337	95,336	95,336	0	100.0
固定資産売却代金	85	85	85	0	100.0
合 計	197,302	234,464	231,872	2,592	98.9

資本的支出

（単位：千円 [消費税込み]、%）

科 目	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不 用 額	執 行 率
建設改良費	146,708	113,994	21,549	11,165	91.1
固定資産取得費	1,059	1,058	0	1	99.9
企業債償還金	190,673	190,672	0	1	99.9
予備費	2,000	0	0	2,000	-
合 計	340,440	305,725	21,549	13,166	95.9

(3) 経営成績

総収益 281,192 千円、総費用 286,520 千円、当年度純利益△5,328 千円である。

これに前年度繰越利益剰余金△103,652 千円を加えた当年度未処分利益剰余金は、△108,980 千円である。

総収支比率は、総収益に対する総費用の割合を表す指標であり、数値が 100%未満の場合、単年度赤字であることを示す。

当年度は 98.1%であり、前年度に比して 2.3 ポイント減少している。

営業収支比率は、給水収益等で維持管理費等をどの程度賄えているかを表す指標であり、数値は 100%を超えるほど良いことになる。

当年度は 81.1%であり、前年度に比して 5.3 ポイント減少している。

(単位：千円 [消費税抜き]、%)

区 分	当 年 度	前 年 度	増 減 額	増 減 率
総収益	281,192	281,152	40	0.01
うち営業収益	210,293	212,549	△ 2,256	△ 1.1
総費用	286,520	280,048	6,472	2.3
うち営業費用	259,441	246,108	13,333	5.4
当年度純利益	△ 5,328	1,105	△ 6,433	△ 582.2
前年度繰越利益剰余金	△ 103,652	△ 104,757	1,105	1.1
当年度未処分利益剰余金	△ 108,980	△ 103,652	△ 5,328	5.1
総収支比率	98.1	100.4	—	—
営業収支比率	81.1	86.4	—	—

(4) 企業債の状況

企業債の状況は、次表のとおりである。

当年度末の残高は 837,441 千円となり、前年度末に比して 113,372 千円減少している。

(単位：千円)

前年度末 現 在 高	当 年 度 中		当年度末 現 在 高
	発 行 額	償 還 額	
950,813	77,300	190,672	837,441

収入未済額集計表

(単位：円)

項目	平成29年度	平成30年度	令和元年度
水道事業会計	31,474,538	42,881,888	40,308,758
水道料金	27,989,538	39,396,888	36,823,758
延滞金	3,485,000	3,485,000	3,485,000
合計	31,474,538	42,881,888	40,308,758